

# 羅針盤

第 3 号

令和6年4月22日(月)



## ◆ 「出会いを大切にする」

今年度の入学式で、新入生の皆さんにお話した充実した学校生活を送るために大切にしてほしいことの二つ目は、「出会いを大切にする」ということです。学校は、たくさんの人の「出会い」が待っている場所です。先生や友だちとの出会い、そして、スポーツや文化、芸術、科学との出会いなど。たくさんの「出会い」の中から、様々な経験を積み重ねることで、自分自身の持つ興味、関心の範囲が大きく広がっていきます。また、自信をもって取り組めることが増えることで、自分自身の可能性といったものが無限に広がっていくものです。人は、人との出会いの中で成長し、出会うことによって新しい自分を発見することができるものです。「出会い」の本質は、「新しい学びの機会」であることに気づいてもらいたいと思います。本から知識を得て、学ぶこともたくさんありますが、人との出会いから学ぶことも本当にたくさんあります。個性や価値観、あるいは、ものの考え方。時には、美学や哲学、人生観といったものまで。人との出会いの中から得るものはとても刺激的なことが多く、自分の人生を大きく左右するような価値観に触れるようなことまでがあります。「世の中には、こんな考え方をする人がいるんだ！」と、感銘を受けて、大きな「驚き」や「感動」といったことから、学び取ることもたくさんあるのです。言葉では上手く説明できなくても、頭の中では見識や世界観といったものがぐるぐると渦をまくかのように広がっていったりもします。自分では普通に出会っているつもりのことでも、時間が過ぎ行く中で、いつの間にか大きく成長することができた自分を発見することができたりするのも事実です。「出会うこと」が、日常の何気ない「勉強」となっているというわけです。人は、人との出会いを通じて成長するものであることに気づいて、多くの人の出会いを心から楽しむことができる人に成長し、人生というものは出会いがあるからこそ素晴らしい、豊かなものになっていくことを感じ取ってもらいたいと思います。



## ◆ 「考える力」とは

「考える力」とは、課題や疑問に対して自分自身で探求し、新たなアイデアや価値、答えを創造する力をことを言います。自分の意見を持ち、自分の言葉で表現するためには、この「考える力」は欠かせないものであると思います。「A!」といったものが最近は身近な存在となってきていますが、「A!」が得意なことは、データを基に計算したり、結論を導き出したりすることであり、「人の感情を汲み取ること」や「0から新しいものを創造すること」などはなかなかできない難しいことです。だからこそ、私たち人間にとって、

「考える力」を磨き続けることがとても重要なことになります。常に受け身で、人任せであることや、常識や既存のルールに囚われすぎること、情報の正しい取り扱いや認識ができないこと、そして、出来事の振り返りをしないままに次の行動に移っているようでは、

「考える力」が養われることはないはずです。些細なことにも疑問をもち、積極的に情報を収集し、多角的な視点を持って観察するといった力を構築していくことが大事です。冷静な判断とともに、物事を見据えた「考える力」を高める活動を進めてほしいと思います。

